

令和元年度（第2回）射水市社会教育委員会議 会議概要

- 開催日時
令和2年3月18日（水）午前10時00分～午前11時24分
- 開催場所
射水市役所本庁舎会議室401
- 出席委員
成田廣昭委員、澤井達司委員、宮垣純吉委員、高田大介委員、島倉松雄委員、鈴木敬子委員、大辻陽子委員
（委員10名中7名出席）
- 事務局
長井教育長、松長事務局長、宮本副参事兼生涯学習・スポーツ課長、菅原学校教育課長、安元生涯学習・スポーツ課長補佐、藤岡生涯学習係長、土橋主任
- 会議概要
 - 1 開会
 - 2 議長あいさつ
 - 3 教育長あいさつ
 - 4 報告・協議事項
 - (1) 令和元年度射水市教育委員会主要事業の進捗状況
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応について
 - (3) 親子で学ぶ論語塾について
 - (4) あったか家族応援プロジェクトについて
 - 5 その他
配布物について
 - 6 閉会
- 配布資料
 - ・ 会議次第
 - ・ 資料1 令和元年度射水市教育委員会主要事業の進捗状況
 - ・ 資料2 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応について
 - ・ 資料3 親子で学ぶ論語塾について
 - ・ 資料4 あったか家族応援プロジェクトについて
 - ・ その他 冊子「令和元年度版人権教育推進のために」

□ 質疑・発言

(1) 令和元年度射水市教育委員会主要事業の進捗状況

Q 小中学校 I C T 教育環境整備事業について

(1) タブレットの所有について【委員】

A 公費で購入し学校配置への配置・保管となる。【事務局】

→ コロナ対応やプログラミング授業など子供たちに求められるスキルが多様化していくことから活用できる方策を早く考えていただきたい。

(2) 先生方の指導力や指導方法についての支援はあるのか。【委員】

A① 現在、I C T 支援員による指導や研修を行っている。また、I C T を得意とする先生を中心とした公開授業も交えながらハードソフト両面から取り組んでいる。

【事務局】

A② 臨時休業を有効に利用して研修を進めており、授業での活用方法や操作のレベルも上がってきた。中学校は無線 L A N も完了しているので新しい指導要領に対応できるものと期待している。【委員】

Q 不登校について

不登校児童・生徒数や状況の把握はされているのか。【委員】

A 小中学校合わせて 200 名弱で、連絡を取り少しでも学校へ足を向いてもらうよう地道に取組はされている。【事務局】

(補足) 国が指定している 30 日以上の不登校児童生徒数は、H30 で小中学校合わせて 100 名弱となっている。【事務局】

Q 放課後子ども教室推進事業について【委員】

実施状況を従来と比較して今後どのように取り組んでいくのか。

A 教室の入れ替えはあっても地域の人材を発掘しながら数字は変わらないよう実施していく。【事務局】

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応について

Q 4 月以降の学校における対応を教えてください。コミセンを通して地域の人たちにも伝えたい。【委員】

A 換気、手洗い、できる限りのマスクの着用（入手困難なため）をお願いしている。少しでも熱がある場合は遠慮なく欠席してほしい。本日から午前中のみ補修学習を行い登校日として扱っている。欠席した場合は 4 月以降に補充するので安心して申し出てほしい旨を伝えている。【事務局】

(補足) 中学校の登校日における生徒たちの健康上の配慮として

- ・授業中も窓を開けて換気
- ・卒業した 3 年生の空き教室を使用し 1 クラスの人数を分散
- ・休み時間の密を避けるため 1 年生と 2 年生の時間割を少しずらしている。

【委員】

〔その他意見〕

- ・ 放課後児童クラブの利用については、3分の2は何らかの形で家庭において対応ができた結果となった。改めて、祖父母にお願いすれば対応が可能だということを確認できた、いかに学校と学童が有難いものかと再認識をしたという話を聞いた。家庭内でのお互いの在り方というものを考え直すきっかけとなったのではないか。【委員】

(3) 親子で学ぶ論語塾について

第2回開催の様子から良い機会であるという印象を受けた。来年も実施されるなら第1回のようにたくさんの皆さんに聞いていただけたらと思う。【委員】

→1回目のようにイベントと同時開催という形で実施できれば集客につながると考えている。【事務局】

(4) あったか家族応援プロジェクトについて

- ・ よい取組だと思う。いろいろな問題を抱えている家庭に対し有意義な事業であるので、周知される内容や時期を情報提供していただきたい。【委員】
- ・ イメージ作りが重要かと思う。若い人にアピールできるようなイメージ戦略や発信の仕方を工夫し取組を進めていただきたい。【委員】
- ・ 合言葉ができて4年目となり、子どもたちにも25日の「あったか家族の日」が定着してきていると感じている。学校でも25日の給食時間に流したい。子どものときに聞いた曲というのは耳に残るもの。大人になっても「あったか家族」が繋がっていく市になればいい、それが学校で出来ることかと感じている。【委員】